

別表 2

開発行為許可申請に係る設計図書等の作成要領

番号	図書の名称	縮尺	明示すべき事項	備考
1	位置図	1/25,000 以上	1 方位 2 地形 3 開発区域とその位置 4 開発区域周辺の主要な道路、交通機関の位置及び名称 5 排水先の河川への経路名称	・国土地理院の地形図を準用すること ・開発区域図と兼ねてもよい
2	開発区域図	1/2,500 以上	1 方位 2 開発区域の境界（赤線で囲む） 3 市の区域内の町、字界、市街化区域界、農用地、用途区域界等	・三島市都市計画図を準用すること
3	現況図	1/500～ 1/1,000 (土地利用計画図と同一縮尺とするこ と。)	1 方位 2 開発区域の境界（赤線で囲む） 3 標高差を示す等高線 4 植生区分 5 建築物及び既存擁壁等の工作物の位置及び形状 6 開発区域内及び開発区域周辺の道路、公園、緑地、広場、河川、水路、取水施設その他の公共施設並びに官公署、文教施設その他の公益的施設の位置及び形状 7 道路の幅員、道路交点の地盤高、河川又は水路の幅員 8 令第28条の2第1号に規定する樹木及び樹木の集団の位置 9 令第28条の2第2号に規定する切土又は盛土を行う部分の表土の位置	・等高線は細線で表示すること ・1 ha以上のもののみ ・1 ha以上のもののみ
4	公図写し	公図のとおり	1 方位 2 開発区域の境界（赤線で囲む） 3 市の区域内の町又は字界 4 土地の地番、形状、地目、面積及び所有者 5 開発区域外で開発行為に関する工事を行う土地の位置	・開発区域周辺も適宜表示すること ・公共用地は次によりうすく着色すること 公道＝赤 水路＝青 堤塘敷＝うす黒

番号	図書の名称	縮尺	明示すべき事項	備考
5	土地利用 計 画 図	1/500～ 1/1,000	1 方位 2 開発区域及び工区の境界（赤線で囲む） 3 主要構造物の標高 4 公園、緑地、広場の位置、形状、面積、出入口及び さく又はへの位置 5 開発区域内外の道路の位置、形状及び幅員 6 表面水の流れ方向 7 排水施設の位置、形状及び水の流れの方向 8 都市計画施設又は地区計画に定められた施設の位 置、形状及び名称 9 消防水利の位置及び形状 10調整池の位置及び形状、調整容量、H. H. W. L、H. W. L、L. W. L（多目的利用の場合にあっては、専用部 分と多目的利用部分の区分） 11浸透型施設の位置、種別、浸透係数（透水係数）及 びその試験位置 12河川その他の公共施設の位置及び形状 13予定建築物等の敷地の形状及び面積 14敷地に係る予定建築物等の用途、規模 15公益的施設の敷地の位置、形状、名称及び面積 16樹木又は樹木の集団の位置 17緩衝帯の位置、形状及び幅員 18法面（がけを含む）の位置及び形状、勾配 19擁壁の位置及び種類 20凡例	<ul style="list-style-type: none"> ・造成計画断面図の位置 について記号にて明 示 ・この図面は開発登録簿 として使用するため 明確に表示すること ・予定建築物等の用途は 住宅、共同住宅、店舗、 〇〇工場と具体的に 各敷地毎に記入する こと
6	造成計画 平 面 図	1/500～ 1/1,000	1 方位 2 開発区域の境界（赤線で囲む） 3 標高差を示す等高線 4 切土又は盛土をする土地の部分 5 擁壁の位置、種類及び高さ 6 法面（がけを含む）の位置、形状及び勾配 7 道路の中心線、延長、幅員、勾配及び交差点の計画 高 8 調整池の位置及び形状 9 予定建築物等の敷地の形状及び計画高 10造成計画断面図、がけの断面図及び擁壁の断面図に 表示する断面の位置 11凡例	<ul style="list-style-type: none"> ・等高線は細線で表示す ること ・切盛の別は次により着 色すること 切土＝黄 盛土＝赤 ・表土の復元等の措置を 講ずるものがある ときは、その部分を（茶） で着色すること
7	造成計画 断 面 図	1/1,000 以上	1 上記平面図5及び6にあたる記号 2 切土又は盛土をする前後の地盤面 3 地盤高、計画高、切盛土高 4 開発区域及び工区の境界 （赤線で囲む）	<ul style="list-style-type: none"> ・高低差の著しい箇所 について作成すること ・切盛の別は次により うすく着色すること 切土＝黄 盛土＝赤

番号	図書の名称	縮尺	明示すべき事項	備考
8	排水施設 計画平面図	1/500以上	1 開発区域及び工区の境界 2 排水区域分の区域界、集水系統ブロック別の色分け及び記号 3 調整池の位置及び形状 4 浸透型施設の位置、種別、浸透係数(透水係数)及びその試験位置 5 都市計画に定められた排水施設の位置、形状及び名称 6 道路側溝その他の排水施設の位置、形状及び種類 7 排水管の勾配及び管径 8 人孔の位置及び人孔間距離 9 水の流れの方向 10 吐口の位置 11 放流先河川又は水路の名称、位置及び形状 12 予定建築物等の敷地の形状及び計画高 13 道路、公園その他の公共施設の敷地の計画高 14 終末処理場を設ける場合は、その位置形状 15 法面(がけを含む)又は擁壁の位置及び形状 16 凡例	・調整池、浸透施設を設ける場合は、表示すること ・調整池の範囲、調整容量、H.W.L、H.H.W.L、L.W.Lの計画高、外周のコンクリート壁の計画等
9	給水施設 計画平面図	1/500以上	1 開発区域及び工区の境界 2 給水施設の位置、形状、内のり寸法 3 取水方法 4 消火栓の位置 5 予定建築物等の敷地の形状	
10	がけの 断面図	1/50以上	1 がけの高さ、勾配及び土質(土質の種類が2以上あるときは、それぞれの土質及び地層の厚さ) 2 切土又は盛土をする前後の地盤面 3 小段の位置及び幅 4 石張、張芝、モルタルの吹付け等のがけ面の保護の方法	・切土をした土地の部分に生ずる高さ2mを超えるがけ、盛土をした土地の部分に生ずる高さ1mを超えるがけ、切土・盛土を同時にした土地の部分に生ずる高さ2mを超えるがけ及び自然がけについて作成すること。
11	擁壁の 断面図	1/50以上	1 擁壁の材料の種類、寸法及び勾配 2 裏込めコンクリートの寸法 3 透水層の位置及び寸法 4 擁壁を設置する前後の地盤面 5 基礎地盤の土質並びに基礎ぐいの位置、材料及び寸法 6 鉄筋の位置及び径 7 水抜き穴の材料、寸法及び位置	・配筋図を含む

番号	図書の名称	縮尺	明示すべき事項	備考
12	求積図	1/1,000以上 ただし、開発面積が20ha以上の場合 1/3,000以上	開発区域の面積	<ul style="list-style-type: none"> ・求積図は実測によること ・求積方法は、原則として三斜法とし、算式明示すること
13	区画割 求積図	1/500以上	<ol style="list-style-type: none"> 1 各敷地の求積図 2 敷地に係る構造物及び土羽等と敷地境界との位置関係 	必要に応じて添付すること
14	道路 縦断面図	縦1/200以上 横1/500以上	幹線街路及び主要区画街路に分けて添付すること	<ul style="list-style-type: none"> ・路線番号(幅員別も含む) ・縦断曲線等も記入すること
15	道路 横断面図	1/100以上	道路中心線より左右各々路側構造物及び宅地高(法面の場合は法肩又は法尻)が判る範囲までとする	道路種別毎に添付すること
16	道路断面 構造図	1/50以上	<ol style="list-style-type: none"> 1 路面及び路盤の詳細(舗装構成も記入すること) 2 道路側溝の位置、形状及び寸法 3 雨水枘及び取付管の形状 4 埋設管の位置及び人孔の形状(破線で記入すること) 	<ul style="list-style-type: none"> ・幅員、構造別に表示すること ・舗装構成については根拠を明示すること
17	下水道 縦断面図	縦1/200以上 横1/500以上	<ol style="list-style-type: none"> 1 人孔の種類、位置及び形状 2 人孔の間隔 3 排水渠の勾配、管径、土被り、管底高及び路線番号 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路縦断面図にまとめて表示してもよい ・下水道を設けない場合は、これに相当する排水施設縦断面図を添付すること
18	排水施設 構造図	1/50以上	排水施設詳細構造図、開渠、暗渠、落差工、人孔、雨水枘、吐口、調整池及び浸透施設	
19	流末水路 構造図	1/50以上	<ol style="list-style-type: none"> 1 放流先の水路、河川の構造詳細図(常時水位も記入すること) 2 放流口の排水施設の構造詳細図 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊水池等の場合はその構造とする ・必要に応じ平面図も添付すること
20	防災工事 計画平面図	1/1,000以上	<ol style="list-style-type: none"> 1 方位 2 開発区域及び工区の境界(赤線で囲む) 3 標高差を示す等高線 4 計画道路線 5 防災施設の位置、形状、寸法及び種類 6 段切位置 7 表土除去位置 8 ヘドロ除去位置、除去深さ 9 工事中の雨水排水経路 10 防災施設の設置時期及び期間 11 凡例 	<ul style="list-style-type: none"> ・開発地が山地で大規模な開発の場合に作成すること ・等高線は細線で表示すること
21	防災施設 構造図	1/100以上	調整池、砂防ダムその他の防災施設の構造	

番号	図書の名称	縮尺	明示すべき事項	備考
22	緑化計画平面図及び求積図	1/500程度	樹種、樹高、数量及び樹木の位置	
23	その他の構造詳細図		1 終末処理場(し尿処理施設を含む)を設ける場合に終末処理場設計図 2 消防水利施設として防火水槽を設ける場合は、防火水槽構造図 3 道路、水路、河川等に防護柵、橋梁等の構造物を設ける場合は、その構造図 4 公園施設計画図 5 その他必要な構造図	・し尿処理施設設計図は、清掃法による衛生担当部局へ提出する図面と同一のものとする
24	構造計算書	A4判	鉄筋コンクリート擁壁、重力式コンクリート擁壁及びその他の構造物の構造計算	
25	安定計算書	A4判	擁壁で保護しないがけの安定計算等について	
26	水理計算書	A4判	1 放流先河川又は水路の流下能力 2 開発区域内排水施設の排水能力 3 調整池の容量、放流口及び余水吐の断面等 4 浸透型施設の浸透能力等	
27	土地調査書及び地盤改良計画図書	A4判	1 土質の状況 2 地盤改良の計画	軟弱地盤等を含む場合に添付すること
28	施行計画書	A4判		必要に応じて添付すること
29	予定建築物図面	1/200程度	各階平面図及び立面図	
30	その他市長が必要と認める図書		1 公共施設新旧対照図 法第32条同意・協議書の内容が、現況図、公図写及び土地利用計画図によって容易に把握されない場合には添付すること 2 公益施設において法第32条協議の結果、国、県、市に移管されないこととされた場合又は同協議が成立しなかった場合には協議の経過書を添付すること 3 その他審査上特に必要と認める図書	

注1) 申請図書はA4判に製本すること。

注2) 設計図書には設計者が記名押印又は署名すること。

注3) 設計図書のうち併記可能なものは、別葉としなくてもよい。逆に、一葉の図面に明示すべき事項全てを表記することが困難である場合には、別葉としてもよい。

注4) 上表に掲げる縮尺によることが不相当である場合は、適切な縮尺で作成すること。

注5) 設計図書に用いる凡例は、付表に掲げるところによることとし、用いた凡例を各図面に表示すること。

注6) 変更図面の作成について

- (1) 各平面図は、原計画を図示し、変更計画を赤線で図示すること。ただし、図面が複雑になる場合は、変更計画を別葉にし、当初図面（許可済図面）も添付すること。

(2) 各断面図も(1)と同様に作成すること。

(3) 新たな構造図については、図面タイトルの上部に赤で新と表示すること。

注7) 図書作者及び連絡先を各申請書の欄外に明示するとともに、提出書類の背表紙に申請物件名を記すこと。